



実りの秋到来

秋になると思い出すのが、小3のときに「どんぐり餅」を作ったことです。当時は学研という雑誌を近所の大多数の子どもが購読しており、私もその一人でした。配達された日にはみんなで持ち寄り、楽しく読み合ったものです。

そんな学研秋の号で、縄文人の暮らしという特集が組まれていました。ちょうどそのとき、縄文文化に関する本を借りて読んでいた私は、たちまちその記事のとりことなり、縄文人が作っていたという「どんぐり餅」を作りたいくなったのです。しかし友達に声を掛けても「なぜそんな変なことをするのか」と断られる始末。仕方なく一人で作ろうと、近くの家にあるどんぐりの木に行き、拾って皮をむき、砕いて水を入れて餅状にまとめてみました。記事には「焼いてクッキーのようにする」と書いてあったのですが、家にオーブンがなかったため、当時の私はこれで完成形としました。

「食べてみようかな」そんな悪魔のささやきが聞こえましたが、何とか思い留まりました。そして私がどんぐり餅を作成している傍らにずっといた近くの家の子供たち。「・・・食べさせてみようかな」

さて、秋になると、3年生の進路も決まってきます。生徒の皆さんの3年間の頑張りが実を結んでいく様子は、本当に嬉しいことです。保護者の皆様にも御協力いただくことがたくさんありますが、学校、御家庭、関係機関で生徒を支え、よりよい進路に向けて頑張っていければと思います。

わんちゃんには、もちろんあげませんでしたよ。

(進路指導主事 北川)

全国障害者スポーツ大会（10月26日～28日）

10月26日～28日に佐賀県で開催された第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」の陸上競技に、青森県代表として普通科2年3組の村上羽乃さんが出場しました。

日々の部活動や県代表選手の強化練習に熱心に取り組み、9月に行われた青森県高校新人陸上競技大会では1500mで決勝に進む好成績を残していました。

10月26日の1500mでは「自分のペースを守り、残り1周で勝負する」という作戦通り、少しずつ順位を上げて銅メダルを獲得しました。翌27日の800mでも残り1周で先頭に躍り出ると、そのまま先頭でゴールして金メダルを獲得しました。今後の活躍も楽しみです。

(高山)



普通科2学年修学旅行（11月6日～8日）

東京駅駅舎前で、笑顔の記念撮影から普通科2学年修学旅行が始まりました。1日目は自主研修等各学級の活動、2日目はディズニーランド、3日目はスカイツリーという行程でした。

2日目のディズニーランドでは、開園と同時に入場し、アトラクションやパレード、買い物などを思い思いに楽しんでいました。ホテルでの夕食後に夜のディズニーランドを楽しんだ学級もありました。

帰りは新幹線の遅れ、体調不良者も出て心配しましたが全員そろって到着できてほっとしました。(高橋朝)



依頼業務なんでもやります！

職業の授業で就労意識を高めるために「実際に働いてみよう」という内容に取り組んでいます。先生方からアンケートをとり、今回は掲示物の掲示とリサイクル業務に取り組みました。

八高支祭で来場者に向けたI Love Foodプロジェクトの掲示物を長期間はがれないように協力して掲示しました。

押さえる人、テープで貼る人など、役割分担をして取り組みました。仕事を順調に進めるには協力した方が効率が良いですね！(加藤)



俺たちのカープス

昨年度に引き続き、月、水、金の週3回、キャリアミーティングの時間に、体力作り、体の動かし方の学習で筋力トレーニングとストレッチに取り組んでいます。体の左右、膝や肘を伸ばす、上体を起こす等々、体を正しく動かすことで、体づくりの効果が上がることを汗をかきながら学んでいます。3月にマッチャになるのが楽しみです。

(小笠原)

